

⑨ 郡戸地区

この「内水ハザードマップ」は、住民の皆様がお住まいの地域で、短時間に大雨が降った場合に内水浸水が想定される範囲やその深さを示したものです。
 内水浸水とは、下水道や側溝などの排水能力を超えた場合に、雨水が道路や宅地などに溜まり発生する浸水のことをいいます。
 このマップを活用して自宅付近の状況や避難所を確認して、安全に避難できるように備えましょう。
 このマップは、想定される最大規模の降雨に伴う内水浸水の区域を示したもので、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮したものでないため、示されていない地域でも浸水が発生する場合があります。

お問合わせ先:「常陸太田市 防災対策課」 TEL:0294-72-3111 (代表) FAX:0294-72-3002
 〒313-8611 茨城県常陸太田市金井町 3690 URL:https://www.city.hitachiotai.ibaraki.jp/ Email:info@city.hitachiotai.ibaraki.jp

防災情報の入手方法

- 市公式ホームページ 消防・防災のお知らせ
 【災害時】緊急情報／避難所開設状況／市道などの通行止め情報
 【防災情報】ハザードマップ各種／避難所情報など
- 常陸太田市行政情報アプリ じゃぶづるさんナビ
 防災情報／防災行政無線の放送内容

●防災行政無線
 災害情報や緊急のお知らせを放送。屋外スピーカーの他、屋内用「戸別受信機」で聞くことができます。

●テレフォンサービス
0294-72-8989
 放送を聞くことができなかった場合、過去の放送内容を聞くことができます。

●NHK総合テレビデータ放送
 地上デジタル放送(データ放送)で、気象情報・河川水位情報などをリアルタイムに確認できます。

●Yahoo! 防災アプリ
 茨城県では、『Yahoo!防災速報』を活用した災害関連情報の提供をしています。

●リモコン操作方法
 dボタンを押す

●ラジオ LuckyFM茨城放送
 FM 94.6MHz(水戸局) 88.1MHz(日立局)

避難に関する情報

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報(常陸太田市)	気象情報(気象庁)(警戒レベル相当情報)
5	命の危険 直ちに安全確保! 災害が発生又は切迫した状況であり、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	・大雨特別警報 ・土砂災害特別警報 ・氾濫特別警報

警戒レベル4までに必ず避難!

4	危険な場所から全員避難! 直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ※土砂災害は立退き避難が原則です。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難する。	避難指示	・大雨危険警報 ・土砂災害危険警報 ・氾濫危険警報
3	危険な場所から高齢者等は避難! 避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は、避難場所へ避難を開始する。 -その他の人は、家族などと一緒に、持ち出し品の用意など、避難の準備を開始。危険だと思ったら早めに避難する。	高齢者等避難	・大雨警報 ・土砂災害警報 ・氾濫警報
2	・避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する。 ・避難情報の把握手段を確認する。	-	・大雨注意報 ・土砂災害注意報 ・氾濫注意報
1	・災害への心構えを高める。 ・防災気象情報等の最新情報に注意する。	-	早期注意情報

特別警報
 ・「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨や、大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが高く高まっている場合に発表し、最大級の警戒を呼びかけるものです。
 ・特別警報が発表された場合、お住まいの地域は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った状況にあります。

●土砂災害の種類

土砂災害の種類	土砂災害の兆候
<ul style="list-style-type: none"> ●がけ崩れ ●土石流 ●地すべり 	<ul style="list-style-type: none"> ●がけから水が噴き出す。 ●がけからの水が濁る。 ●小石がバラバラと落ちて、がけから木の根が切れるなどの音がある。 ●山鳴りや立ち木の裂ける音が聞こえる。 ●石のぶつかり合う音が聞こえる。 ●雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。 ●川の水が急に濁ったり、流木が流れてくる。 ●泥臭いにおいが漂う。 ●山腹や地面にひび割れ・段差ができる。 ●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面や地面から水が噴き出す。 ●建物や電柱、樹木が傾く。 ●井戸や野池の水かさが急激に変わる。

気象情報や河川水位に関する情報収集

●気象庁(国土交通省)
 防災情報／天気／キキクル(危険度分布:雨雲の動き、浸水、土砂、洪水)／新しい防災気象情報

アドレス
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

●川の防災情報(国土交通省)
 河川ごとの水位／雨量情報／河川のライブ映像

アドレス
<https://www.river.go.jp/>

●茨城県 防災・危機管理ポータルサイト
 県内で発令中の気象警報・注意報など

アドレス
<https://www.bousai.ibaraki.jp/>

●常陸河川国道事務所
 河川情報／雨量情報／道路規制など

アドレス
<https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/>
[携帯用](https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/bousai2/sp/)

●茨城県 土木部 雨量・河川水位情報
 県が設置する水位計の水位情報など

アドレス
<https://kasen-pref-ibaraki.jp/>

●テレフォンサービス
029-240-4102
 那珂川・久慈川のリアルタイム雨量・水位情報

災害時に家族と連絡がとれない場合は…

災害時の声の伝言板 **災害伝言用ダイヤル**
 災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れないことが多くあります。そんなときは「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。
 ※一般電話・公衆電話・携帯電話・PHSから利用できます。

録音方法 171 → 1 → 伝言を録音したい方の0294 + 自宅電話番号 または 携帯電話番号

再生方法 171 → 2 → 伝言を再生したい方の0294 + 自宅電話番号 または 携帯電話番号

災害伝言板(web171等)
 大規模災害等が発生したときに、携帯・スマホ・パソコン等を利用して伝言の登録・確認ができる伝言板です。

登録方法
 それぞれのアクセス先のメニューに従って入力を行ってください。

確認方法
 それぞれのアクセス先のメニューに従って確認を行ってください。

内水と外水(洪水)の違い

●内水氾濫
 内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が上がっている時に雨水を排水できなくなり、マンホールや水路から水があふれて市街地や田畑が浸水することをいいます。

●外水氾濫(洪水)
 外水氾濫(洪水)とは、大雨や台風などで河川の水位が上昇し、堤防の高さを超えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることで、河川の水が直接市街地や田畑に流れ込むことをいいます。

雨の強さ・降り方

雨の強さ(1時間雨量)	人や物への影響	屋外の様子	車に乗っている
やや強い雨(10~20mm)	傘をさしていても濡れる。	地面一面に水たまりができる。	
強い雨(20~30mm)	傘をさしていても濡れる。		
激しい雨(30~50mm)	バケツをひっくり返したように降る。	道路が川のように濡れる。	
非常に激しい雨(50~80mm)	滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役に立たなくなる。		
猛烈な雨(80mm~)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。		車の運転は危険。

避難時の心得

●TV・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報などの災害情報入手しながら、雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに避難しましょう。

●防災行政無線などからの避難の呼びかけに注意しましょう。

●非常時持ち出し品と一緒にハザードマップを持って避難しましょう。

●避難する前に、電気・ガスなどの火元を止め、避難所をもう一度確認しましょう。

●隣近所に声を掛け合い、なるべく集団で避難しましょう。また、高齢者、子供、病人、障がいのある人等の避難に協力しましょう。

●車の避難は、歩行者・緊急車両の妨げになるので、できる限り徒歩で避難しましょう。

●避難経路はできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に注意しながら避難しましょう。

●避難が遅れたときは近くの丈夫な建物の浸水が及ばない階に逃げましょう(垂直避難)。

家でやっておきましょう

●浸水対策
 側溝や雨水ますを点検しよう
 ●側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。
 ●雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。普段から清掃しておきましょう。
 ●雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。

●浸水に備えよう
 ●家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ袋などを利用して水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
 ●大雨の際には、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぎましょう。

●家庭でできる浸水防止対策の一例
 ●水のはがし用の板などを組み合わせて、浸水を防ぎます。
 ●水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。
 ●プランターをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

●ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう
 ●自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
 ●自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。

指定緊急避難場所・避難所一覧

幸久幼稚園	上河合町1287-2	旧郡戸小学校	中野町2
旧幸久小学校	上河合町2	金砂郷中学校	大里町3577
峰山小学校	谷河原町298	交流センターふじ	高柿町272
太田中学校	新宿町466	大里ふれあい広場ふれあいセンター	大里町4401-6
太田西山高等学校	新宿町210	工芸交流センター楓	小島町1263-1
幸久公民館	上河合町1334-2		
佐竹公民館	稲木町671		
旧金砂郷小学校	高柿町325-1		
金砂郷小学校	大里町4401		

避難時の持ち出し品を確認しよう

- 避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 持ち出し品はできるだけ少なくし(ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ペーパー用品、マスクなど)、リュックサックなど、両手があくものに収まる程度にしましょう。
- 避難場所には食料、水、タオルなど、必要なものを持参しましょう。
- 持ち物(例)
- | | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 食料 | <input type="checkbox"/> 携帯電話 | <input type="checkbox"/> ラジオ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> アルコール消毒薬 | <input type="checkbox"/> 体温計 | <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> ティッシュ |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> タオル | <input type="checkbox"/> 着替え・スリッパ等 | <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ、歯磨き粉 |
| <input type="checkbox"/> マイナンバーカード | <input type="checkbox"/> お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 服用中の薬 | <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 雨具 |
| <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> 粉ミルク、哺乳瓶、離乳食 | <input type="checkbox"/> 紙おむつ、おしり拭き | <input type="checkbox"/> その他 | |

浸水継続時間が長い区域

●浸水継続時間が長い区域
 浸水の深さに関わらず、浸水が長時間継続する地域があります。この様な地域において、自宅の2階などに避難した場合、数日間におよぶ自宅での困難な避難生活を強いられることとなります。
 長時間の浸水が想定される地域においては、自宅に留まらず、早めに避難しましょう。

●凡例
 指定緊急避難場所、指定避難所、排水ポンプ車活動予定場所、対象地区、水位・雨量観測所等、河川カメラ、鉄道・幹線道路、一般国道、主要地方道、一般県道、JR水郡線、その他施設、警察署・交番・駐在所

●観測所
 水位観測所: 和田、山田川、常井橋、大方、浅川、都戸橋
 河川カメラ: 和田、常井橋水位観測所、山田川合流地点、幸久橋
 危機管理型水位計: 久米橋、湯の沢川
 雨量観測所: 中野

浸水が長時間継続する地域にお住まいの方は自宅に留まらず、早めの立ち退き避難を!

●浸水継続時間
 浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する区域

【雨と風(雨と風の階級表)】(気象庁)を加工して作成